

# 視覚会議® 導入事例

## トレンドマイクロ株式会社

### 『型』があるからこそ発揮できる 瞬発力と跳躍力

セキュリティエキスパート本部

ソリューション事業本部

内藤 祥華 様 / 近江 麻佐子 様

新井 源杓 様

トレンドマイクロ社では2006年から「Technical University」(略してTU)というイベントを年に一度開催しています。ここ数年はメンバーが全員参加して "お客さまの価値" を考え、イノベーションを維持・促進して組織能力を高めるための場として実施されています。

「溶岩流のような熱いパッションで周りを巻き込んでいく」をテーマに実施された2012年のTUに視覚会議® が導入された背景と、導入後の効果などについてお話を伺いました。

## "新しい試み" に満ちた2012年のTU

年々バージョンアップを重ねているというトレンドマイクロ社のTU。最初の数年はスピーカーの話セミナー形式で聞くスタイルだったものが2010年からは全員参加型に変わり、2012年にはさらに新しい試みに挑戦しました。その挑戦とは、自ら手を挙げたリーダーが、OST(オープンスペーステクノロジー)の場で自分たちの "やりたいこと" を熱く語ってチームメンバーを募り、チーム一丸で "やりたいこと" の実現に取り組むという体制を導入したこと。この新しい挑戦の一環とし、視覚会議® の研修を受けた運営メンバーがファシリテーターとして各チームをサポートしました。

## 溶岩のような情熱をファシリテート

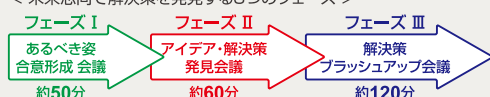
セキュリティエキスパート本部が組織能力を高め、そしてイノベーションを永続的に生み出す組織になるために実施されているTU。2012年は "組織能力を高める場" を自ら創りたいと考えたメンバーによる運営チームが結成されました。溶岩のような情熱をもって動き出した17のチームを効果的・効率的にサポートできるツールを探していた運営チームは、短期間で結果を出せるファシリテーション手法として視覚会議® を選び、また自分たちがファシリ

裏面へ続く→

### ● 視覚会議® とは

視覚会議® とは、参加者全員で自由かつ創造的に、短時間で実現可能性の高い解決策を創り上げる「未来志向」の会議術です。皆の知恵を見る化し、つなぎ合わせ、全員が納得するシナリオを創り上げます。

< 未来志向で解決策を発見する3つのフェーズ >



ホワイトボード上にアイデアを見る化



テーターとしてチームをサポートすることを決めました。チームの外にファシリテーターを置けば、リーダーに掛かる負担を経験することもでき、リーダーのそれとは多少異なる意見を持つメンバーが発言しにくくなる状況を避けることにもつながります。「第三者がファシリテーターを務めたことで、リーダーとの摩擦を恐れずにリーダー以外のメンバーも自分たちの思いを語る事ができたように思います。」(内藤さん)

## 視覚会議®の魅力は"型"があること

視覚会議®という目新しい手法に対するチームリーダーの反応について近江さんに聞いてみたところ、「それはいろいろでしたねえ…」との答えが。例えば、最初から活発に意見交換が進んでいたチームでは視覚会議®導入時に多少の戸惑いを感じたようでした。しかし、無口な方や新人でも自然な流れの中で発言できるような"型"がある点はファシリテーターとしては使いやすい手法だったそう。トレンドマイクロ社には"汗をかいた感"も大事にするカルチャーがあるため、50分で答えが出る視覚会議®に物足りなさを感じるチームもあったようです。「でも、徹夜や合宿での時間をかけた議論も大事ですが、短時間で最大限の瞬発力・跳躍力を発揮させる手法も必要



だと思います。視覚会議®には守破離の"守"に当たる型がある。まずは型にはめてから、自由に型を外していけるようになればいいですね。」(新井さん)

"汗をかいた感"や"みんなで苦労した感"のような人間的な部分はトレンドマイクロの重要なカルチャーで大事にしていきたい。でもむやみに汗をかくのではなく、必要ところで最大限の力を発揮できるように他のところでは体力を温存してほしい…と運営チームメンバーは考えていらっしゃるようです。3つのフェーズそれぞれで何を議論するかという"型"が明確な視覚会議®は、無駄をなくし体力を温存するのに適した手法だと言えるのではないのでしょうか。

## 進化するクロスファンクション

"ファシリテーター"という存在が徐々にエンジニアの中で認知されるきっかけとなった2012年のTUを終えてからも、TUの運営チームは他部署にファシリテーターとして呼ばれることが増えてきたといいます。特に、トレンドマイクロ社では近年クロスファンクションではない仕事はないような状況なので、クロスファンクションチームのメンバーやその上司を巻き込んだの合意形成に積極的に視覚会議®を使っていきたいと考えていらっしゃいます。トレンドマイクロ社のクロスファンクションが、視覚会議®の導入でどのように進化していくのか、今後が楽しみです。

※TRENDMICROは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。  
※視覚会議®は株式会社ラーニングプロセスの登録商標です。

お問い合わせ



株式会社ラーニングプロセス

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-21 ちよだプラットフォームスクウェア1137  
TEL. 03-6268-8580 mail : info@L-process.jp

<http://www.Shikaku-Kaigi.jp>